



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 アライドアーキテツ株式会社
 コード番号 6081 URL <http://www.aainc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 壮秀
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 山口 陽平
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6408-2791

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	4,137	△8.0	△86	—	△161	—	0	△99.5
28年12月期第3四半期	4,497	164.0	190	—	113	—	98	—

(注)包括利益 29年12月期第3四半期 5百万円 (△94.6%) 28年12月期第3四半期 109百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	0.04	0.04
28年12月期第3四半期	7.52	6.60

(注)当社は、平成29年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	3,360	1,787	53.1
28年12月期	3,315	1,348	40.7

(参考)自己資本 29年12月期第3四半期 1,784百万円 28年12月期 1,347百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	0.00	—		
29年12月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,334	△11.2	△49	—	△135	—	△2	—	△0.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成29年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算定しております。なお、連結業績予想の修正については、本日(平成29年11月13日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期3Q	13,872,300 株	28年12月期	13,221,000 株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	23,544 株	28年12月期	23,544 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期3Q	13,488,847 株	28年12月期3Q	13,027,986 株

(注)当社は、平成29年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善などの影響を受け、緩やかな回復基調が続いております。一方、海外経済においては、米国を中心として回復基調に向かっているものの、北朝鮮情勢をめぐる地政学リスクなどにより、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが事業を展開するインターネット領域においては、消費者の日常生活においてスマートフォンや多機能端末等が普及し、さまざまなソーシャルメディアの利用時間が増加する中で、企業のマーケティング及び販売促進活動におけるソーシャルメディア活用の重要性は益々高まっております。また、ビッグデータ技術やアドテクノロジーの発展により、消費者にとってより有用性の高いコンテンツや情報提供の可能性が広がり、ソーシャルメディアの活用範囲はさらなる拡大を続けていくと見込まれます。

このような環境において、当社グループでは各種サービスの機能拡充や営業体制の見直しに加え、SNSデータを活用したSNSプロモーションサービスやSNS広告関連サービスのクロスセル等により、顧客企業の総合的なソーシャルメディアマーケティング支援に取り組んでまいりました。

また、シンガポール子会社であるReFUEL4 Pte. LTD. においては、広告クリエイティブに特化したグローバルプラットフォーム「ReFUEL4®」のさらなる事業拡大のため、サービスのリニューアルや営業拠点の新設等の先行投資を実施いたしました。しかしながら、当初の計画よりも投資規模及び投資期間を拡張したことから、前年同期比で費用が増加し、当該先行投資の回収が第4四半期連結会計期間以降へとずれ込む結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,137,501千円（前年同期比8.0%減）、営業損失は86,299千円（前年同期は営業利益190,328千円）、経常損失は161,141千円（前年同期は経常利益113,444千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は531千円（前年同期比99.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて45,620千円増加し、3,360,744千円となりました。これは主に、投資有価証券が435,401千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が386,558千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて393,177千円減少し、1,573,624千円となりました。これは主に、買掛金が188,544千円、長期借入金が167,091千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて438,798千円増加し、1,787,119千円となりました。これは主に、資本金が209,029千円、資本剰余金が221,349千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月14日に公表いたしました平成29年12月期の通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成29年11月13日）付で別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,702,858	1,597,559
受取手形及び売掛金	947,640	561,081
仕掛品	2,082	6,949
繰延税金資産	20,791	15,894
その他	85,041	151,297
貸倒引当金	△24,452	△13,454
流動資産合計	2,733,960	2,319,328
固定資産		
有形固定資産	55,356	49,822
無形固定資産	28,701	51,220
投資その他の資産		
投資有価証券	418,793	854,194
繰延税金資産	3,326	2,136
その他	85,830	92,831
貸倒引当金	△10,845	△8,791
投資その他の資産合計	497,104	940,371
固定資産合計	581,162	1,041,415
資産合計	3,315,123	3,360,744
負債の部		
流動負債		
買掛金	618,191	429,647
1年内返済予定の長期借入金	226,954	226,954
未払法人税等	43,691	92,605
ポイント引当金	6,990	6,915
その他	299,520	213,139
流動負債合計	1,195,347	969,260
固定負債		
長期借入金	771,455	604,364
固定負債合計	771,455	604,364
負債合計	1,966,802	1,573,624
純資産の部		
株主資本		
資本金	612,034	821,063
資本剰余金	584,034	805,383
利益剰余金	151,309	151,841
自己株式	△11,915	△11,915
株主資本合計	1,335,461	1,766,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,254	6,687
為替換算調整勘定	8,249	11,161
その他の包括利益累計額合計	12,504	17,848
新株予約権	355	2,898
純資産合計	1,348,320	1,787,119
負債純資産合計	3,315,123	3,360,744

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	4,497,904	4,137,501
売上原価	3,386,375	2,961,419
売上総利益	1,111,528	1,176,082
販売費及び一般管理費	921,199	1,262,382
営業利益又は営業損失(△)	190,328	△86,299
営業外収益		
受取利息	206	143
受取配当金	—	336
還付加算金	457	—
その他	929	1,041
営業外収益合計	1,592	1,521
営業外費用		
支払利息	989	4,660
株式交付費	60	1,527
為替差損	72,862	14,265
投資事業組合運用損	4,480	470
持分法による投資損失	—	48,699
自己株式取得費用	83	—
その他	—	6,739
営業外費用合計	78,476	76,363
経常利益又は経常損失(△)	113,444	△161,141
特別利益		
新株予約権戻入益	31	26
株式交換差益	—	263,738
特別利益合計	31	263,764
税金等調整前四半期純利益	113,476	102,622
法人税、住民税及び事業税	15,454	97,221
法人税等調整額	—	4,869
法人税等合計	15,454	102,091
四半期純利益	98,022	531
親会社株主に帰属する四半期純利益	98,022	531

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	98,022	531
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,252	2,432
為替換算調整勘定	19,720	2,911
その他の包括利益合計	11,467	5,344
四半期包括利益	109,489	5,875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109,489	5,875

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)

株主資本の金額の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使に伴い、資本金及び資本準備金がそれぞれ209,029千円増加しております。これを主な要因として、当第3四半期連結会計期間末において資本金が821,063千円、資本剰余金が805,383千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、ソーシャルメディアマーケティング支援を主な事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。